

青森からお届けします！



6/21に青森も梅雨入りしました。
りんご達は、4cm程に大きくなり、しっかりと上を
向いて元気に育っています。
りんごの枝も春からグングン枝を伸ばし葉っぱを
増やしてきた栄養成長から、次のりんごへの花芽を
形成する 生殖成長へ変わる時期となりました。
たくさん光合成をして元気に育ってもらうためには
太陽の光はもちろん、根っこから吸い上げる水が
とても大切になります。
夏の雨をたっぷりと含んだ梅雨は木々にとって
大切な「命の水」を蓄える時間。自然のサイクルに
いっしょに感謝して過ごす季節です。

大切な木を病気から守るために

最近、園地で新しく覚えた作業
があります。それは、りんごの木
を脅かす「腐らん病」の手当て
です。

ほんの少しの樹皮の傷から
菌が入り、幹を腐らせてしまう
この病気は、放っておくと
他の木にもうつってしまうため、
絶対に見逃ごせません。

見つけたらすぐに、細い枝は
切り落とし、太い幹は病気の
部分を削り取っていきます。

腕の力も体力もいる、根気の要る作業です。

「これ、削りすぎじゃないかしら……」と内心
ハラハラしながらの手探りですが、木々に
「また元気になってね」と思いを込めながら、
一生懸命に向き合っています。

奈良岡



実すぐり』作業はオーディション!!

『実すぐり』とは小さかったり、
傷や変形のあるりんごを間引く
作業のことです。

さらにはりんご同士の適切な
間隔を取るために正常なりんご
を間引くこともあります。

春に花を咲かせ、授粉した
りんごは、今ではピンポン玉
くらいまでの大きさに。

品種によっては鶏の玉子くらいの大きさのものも。
もうこの大きさになるとしっかり『りんご』らしい姿に
なっています。

ここまで育ったのに間引くと“もったいない”って
気持ちになる時もあります。

でも『実すぐり』は良いりんごを作るための言わば
『オーディション』。そして、その作業をする自分は
審査員。心を鬼にして選抜し、樹に残った
りんごたちをしっかりと育てていきたいです。

久米



♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥ 心温まる小さな奇跡 ♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥

園地を歩いていたら、今年一番びっくりする
可愛い発見がありました。りんごの木の穴が、
綺麗なハートの形をしていたのです。
思わず「ハート？」と呟いてスマホでパシャリ。
厳しい季節を一緒に乗り越え毎日お世話をして
きた木から、感謝のサインをもらったような
気がして、とても嬉しくなりました。

佐藤



青森りんご産地直送

大湯ファーム

〒036-8124青森県弘前市石川字石川64

TEL : 0172-49-7890

FAX : 0172-55-0257

メール : info@ooyufarm.com

ホームページ : <http://ooyufarm.com>